

## 環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、「東洋のエーゲ海」とも称される瀬戸内海やリアス式海岸が続く宇和海、西日本最高峰の石鎚山、日本三大カルストに数えられる四国カルストなど、豊かで美しい自然に恵まれております。

一方で、近年、気候変動や海洋プラスチックごみ汚染といった地球規模の環境問題が、私たちの暮らしや社会経済活動に深刻な影響を与えています。

こうした中、本県では、第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」において、「調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”やさしい愛媛<sup>え</sup>顔あふれる『えひめ』づくり」を基本政策の一つに掲げ、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、各種施策を展開しているところです。

また、昨今の環境行政を巡る社会経済情勢を踏まえ、新たな環境課題にも適切に対応すべく、今年2月に、環境政策のマスタープランである「第三次えひめ環境基本計画」を策定するとともに、4月には、「気候変動適応センター」を設置し、気候変動の影響や適応に関する研究・検討に取り組んでおります。

今後とも、県民の貴重な財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に努めて参りますので、皆様方の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、多くの方々の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境の保全に向けた活動の一層の促進につながりますことを期待申し上げます。

令和2年12月

愛媛県知事 中村時広